

第5回日野橋の在り方検討委員会 議事録

- 1 日時 令和7年7月28日（月） 13時30分～15時00分
- 2 場所 鳥取県西部総合事務所3号館 会議室（米子市役所 糺町庁舎）
- 3 出席者
委員：福山委員長、高増副委員長、佐藤委員、中森委員、野口委員、高野委員、俵委員、長尾委員、和田委員 ※順不同
事務局：伊達都市整備部長、北村道路整備課長、足立課長補佐、長田係長、植松係長
大塚文化振興課長、原文化振興官

4 日程

- ① 開会
- ② 挨拶
- ③ 議事事項
・日野橋の在り方に関する検討報告書（案）について
- ④ その他
- ⑤ 閉会

5 議事概要

日野橋の在り方に関する検討報告書（案）について、事務局より委員会に対し内容の確認・指摘事項等の確認を行った。主要な質疑事項を以下に示し、細かな指摘事項については別紙に示す。

[日野橋の在り方に関する検討報告書（案） 1章 2章]

(事務局) 「1.はじめに」および「2.日野橋の現状と課題」について概要説明を行った。

(委員長) 章構成に問題は無いか。

(委員) (異議なし)

(委員) 年表については私の方で整理した資料を参考にしてほしい。

(事務局) 内容を確認の上、参考にさせていただく。

(委員) このような橋は登録文化財としての補修のやり方となるのではないか。

(事務局) 文化庁には塗替え時の塗装色等確認を行っている。

(委員) PCBの除却期限は道路橋だけのものなのか。

(事務局) 道路橋だけではなく、低濃度PCBすべてが対象である。除却期限は令和9年3月31日。

[日野橋の在り方に関する検討報告書（案） 3章]

- (事務局) 「3. 日野橋の今後の在り方に関する検討」について概要説明を行った。
- (委員) 車尾地区の意見交換会は雪で延期となったため、参加者があまり集まらなかった。
- (委員長) アンケート結果は一定数・過半数等の表現は具体的にす。また、コメントも誤解を招かないように回答数のうち 50%を目安に「高い」「低い」の表現にするべきである。
- (委員) 地元意見交換会の歴史・文化のうち、「これまで撤去に至った米子市文化財のことも踏まえ検討すべきである」とはどのようなことを示しているのか。
- (事務局) 米子城のことを示している。誤解を招かないように削除する。
- (委員) 地元意見交換会にある戸山城跡は日野橋の周辺文化財にいれないのか、意図などがあるのか。
- (委員) 日野橋からは場所が離れている。
- (委員) 20 年毎のライフサイクルコストについて、文化庁との協議の中では、20 年より長いサイクルの塗装があるとの指摘があったが確認をされたか。
- (事務局) このたびの修繕工事で使用する塗装の耐用年数（厳しい環境）と 5 年毎の点検結果による修繕も含めライフサイクルを約 20 年と想定している
- (委員) 橋りょう修繕に使用する一般的な塗装なので基準として出されているものを記載すればよい。
- (委員) 在り方検討委員会報告書は今後、市長へ報告したあと市民も見れるようになるのか。
- (事務局) 在り方検討委員会報告書が固まれば市のホームページで公開する予定である。
- (委員) そもそも委員会設置の流れは令和 5 年に PCB を確認したことが基になって、今後の在り方を検討する意味で委員会を設置したということか。
- (事務局) 大規模修繕の時期にきていたところで PCB の調査をした結果、含有していることがわかった。もともとは、大規模修繕の時期にきていたことが今回のスタートになっている。
- (委員) アンケート結果では 17%の方が早期撤去が必要との意見であり、まとめにくくなった。令和 5 年度の PCB 調査結果により大規模修繕が必要になったということか。もし何もなかった場合、市として早期に撤去することを検討はしていなかったのか。
- (事務局) 撤去を含めた存続というものを検討していた。米子市全体の橋梁維持管理費は約 2 億円であり、日野橋を修繕した場合、年間 7 千万円の維持管理費となる。歴史的な価値や利用状況を踏まえ判断が難しいので第 3 者委員会により意見を徴収したく実施した。
- (委員) 偶然に PCB、大規模修繕、水道管の存置と重なったのか。上手に調整ができてい

れば撤去もできたのでは無いか。委員会の設置時に市として検討をしたのかというところがなやましいところ。

(事務局) 撤去か存続か判断が難しかったため委員会を設置した。

今後、委員会報告を受け止め、本市として判断をさせていただきたい。

(委員長) 当初は、PCBの話はなかった。後でPCBが確認され大型改修をしなければならなくなった。その後、委員会を立ち上げこの機会に次の意思決定をするための議論のベースを今作る事となった。

(事務局) 当初PCB除去だけで費用をかけない予定であった。検討を進めている中で、PCBの除去にはある程度の補修も必要となり修繕を行う事となり、修繕後20年程度もつこともわかった。

(委員) 委員会設置の経緯が報告書に分かるようにどこかに記載したほうが良い。

(事務局) 第1章のはじめに追加する。

[日野橋の在り方に関する検討報告書(案) 4章]

(事務局) 「4.日野橋の在り方に関する提言」について概要説明を行った。

(委員) 在り方の検討の段階イメージには西暦などをいれて具体的な年数が分かるようにした方がよい。また、維持管理費用も入れておいた方がよい。

(事務局) 入れるように検討する。

(委員) 維持管理費用は3章にある。

(委員長) 了承した。維持管理費用については煩雑となるので入れなくてもよい。

報告書として「拙速に判断する」との表現について確認したい。委員の方から特に意見が無ければそのままにしておいても良い。

(委員) 20年までの表記があるので良いのではないか。

(委員) 利活用について、他の部署などと今後どのように考えているのか。

(事務局) 行政だけでイベントを実施しても盛り上がり、続かない。地元から盛り上がりて頂きたいと考えている。

(委員) 地元では日野橋の関心は高まっているが、まだ何か行動を起こす状態ではない。

(委員) 先日、日野川清掃を行った際も地元の皆さんに今、このような検討がされると話をした。ただ、橋が長いのでなかなかやりづらい。

(委員) 水道局も米子の水などとして盛り上げている。

(事務局) 地元・市民からの要請があれば協力していきたい。